

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
臨床栄養学各論		塩原 明世	講義	2	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	栄養士免許必修 栄養教諭二種免許必修			
学習目標	臨床栄養学総論において、栄養と関連深い疾患の概要、成因、症状、合併症、診断、治療法の基本的項目を学んだことを基礎に、臨床栄養学各論では、栄養学の臨床への実践的展開の方法として、栄養食事療法の原則や実際について理解し、病態から臨床検査結果、栄養素、食品、料理、食事へのつながりについて学習する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	治療食の基礎知識 消化器疾患（1）	治療食の意義、分類 胃・十二指腸疾患患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
2	消化器疾患（2）	腸疾患患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
3	代謝性疾患（1）	肥満に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
4	代謝性疾患（2）	糖尿病患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
5	代謝性疾患（3）	脂質異常症患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
6	循環器疾患（1）	動脈硬化症、虚血性心疾患に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
7	循環器疾患（2）	高血圧症に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
8	腎臓疾患（1）	高尿酸血症、痛風患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
9	腎臓疾患（2）	腎炎など腎臓病患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
10	肝臓疾患（1）	肝炎に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
11	肝臓疾患（2）	脂肪肝、肝硬変などの肝臓病患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
12	血液疾患	鉄欠乏製貧血、巨赤芽球性貧血ほかに対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
13	アレルギー	腎臓病患者に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
14	心身症・骨疾患	神経性食欲不振症・神経性大食症・骨粗鬆症に対する栄養食事療法の原則、栄養アセスメントについて			
15	薬剤の種類と効能	各疾患の治療手段として用いられている薬剤の種類と効能について			
参 考 書	田中 明他著「新版 臨床栄養学」建帛社 2009				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	教科書に記載されていない内容についても触れるので、きちんとノートを取り整理すること。毎回の確認テストにより知識の定着を図ること。				
評価の方法と時期	定期試験および各授業での確認テストの結果にて判定する。				